

## 平成25年(2013年) 7 ～ 9 月期平均の結果

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	245,161 円		
前年同期比	名目 1.8%の増加	実質 0.7%の増加	
二人以上の世帯は,	283,812 円		
前年同期比	名目 1.8%の増加	実質 0.7%の増加	
単身世帯は,	155,621 円		
前年同期比	名目 2.3%の増加	実質 1.2%の増加	

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 1.5%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 2.3%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 1.2%の減少

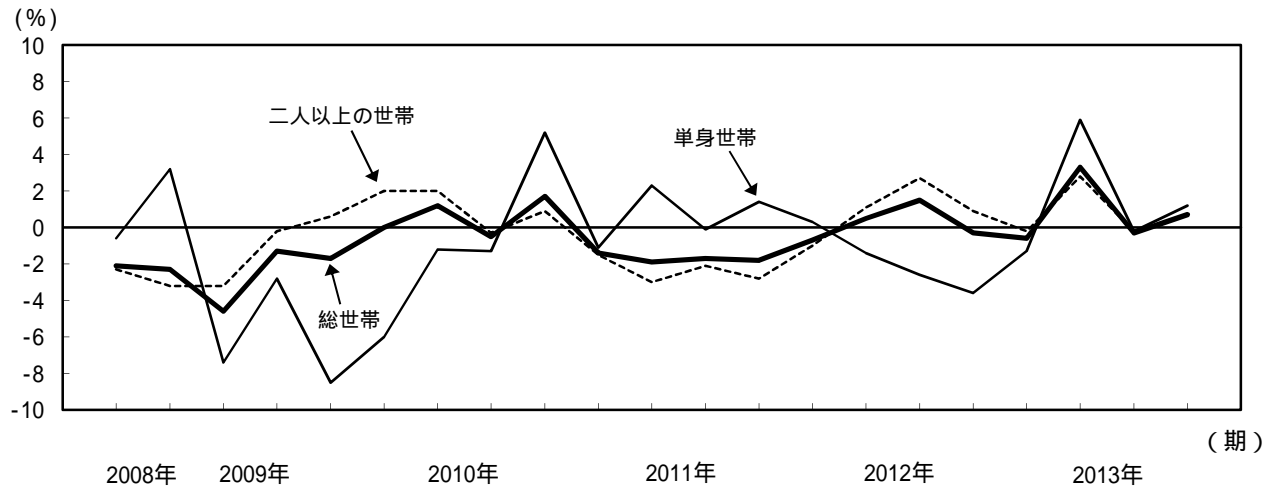
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

### < 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,			
実収入	前年同期比	名目 0.2%の増加	実質 0.9%の減少
可処分所得	前年同期比	名目 0.4%の減少	実質 1.5%の減少
消費支出	前年同期比	名目 0.8%の増加	実質 0.3%の減少
平均消費性向	前年同期差	0.9ポイントの上昇	
二人以上の世帯は,			
実収入	前年同期比	名目 1.6%の増加	実質 0.5%の増加
可処分所得	前年同期比	名目 0.7%の増加	実質 0.4%の減少
消費支出	前年同期比	名目 1.7%の増加	実質 0.6%の増加
平均消費性向	前年同期差	0.8ポイントの上昇	

## 消費支出の推移

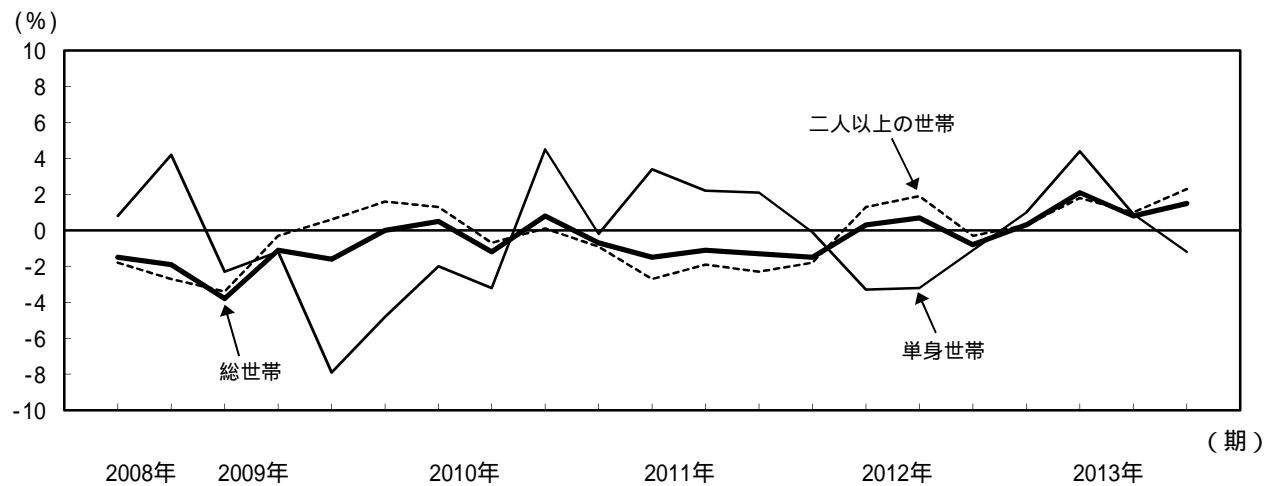
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2010年		2011年				2012年				2013年		
総世帯	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5	1.5	-0.3	-0.6	3.3	-0.3	0.7
二人以上の世帯	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1	2.7	0.9	-0.2	2.8	-0.2	0.7
単身世帯	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.4	-2.6	-3.6	-1.3	5.9	-0.2	1.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

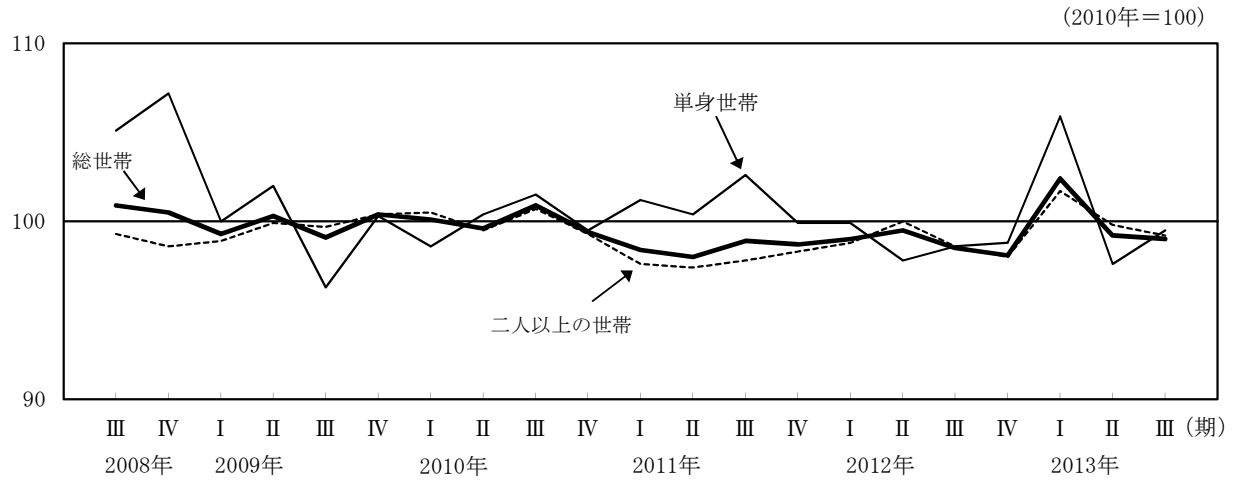
図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移



消費支出(除く住居等)	2010年		2011年				2012年				2013年		
総世帯	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3	0.7	-0.8	0.3	2.1	0.8	1.5
二人以上の世帯	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.8	1.3	1.9	-0.3	0.3	1.8	1.0	2.3
単身世帯	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	-0.1	-3.3	-3.2	-1.1	1.0	4.4	0.9	-1.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移



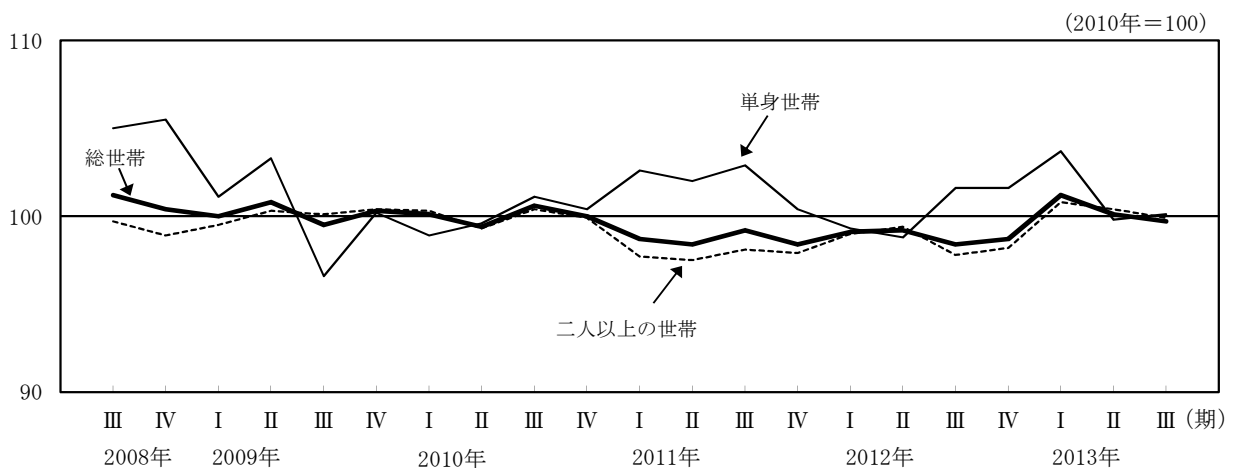
消費支出	2010年		2011年				2012年				2013年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	100.9	99.4	98.4	98.0	98.9	98.7	99.0	99.5	98.5	98.1	102.4	99.2	99.0
対前期変化率(%)	1.3	-1.5	-1.0	-0.4	0.9	-0.2	0.3	0.5	-1.0	-0.4	4.4	-3.1	-0.2
二人以上の世帯	100.7	99.3	97.6	97.4	97.8	98.3	98.8	100.0	98.6	98.0	101.7	99.8	99.2
対前期変化率(%)	1.2	-1.4	-1.7	-0.2	0.4	0.5	0.5	1.2	-1.4	-0.6	3.8	-1.9	-0.6
単身世帯	101.5	99.5	101.2	100.4	102.6	99.9	99.9	97.8	98.6	98.8	105.9	97.6	99.5
対前期変化率(%)	1.1	-2.0	1.7	-0.8	2.2	-2.6	0.0	-2.1	0.8	0.2	7.2	-7.8	1.9

注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移



消費支出(除く住居等※)	2010年		2011年				2012年				2013年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	100.6	100.0	98.7	98.4	99.2	98.4	99.1	99.2	98.4	98.7	101.2	100.1	99.7
対前期変化率(%)	1.2	-0.6	-1.3	-0.3	0.8	-0.8	0.7	0.1	-0.8	0.3	2.5	-1.1	-0.4
二人以上の世帯	100.4	99.9	97.7	97.5	98.1	97.9	99.0	99.4	97.8	98.2	100.8	100.4	99.9
対前期変化率(%)	1.1	-0.5	-2.2	-0.2	0.6	-0.2	1.1	0.4	-1.6	0.4	2.6	-0.4	-0.5
単身世帯	101.1	100.4	102.6	102.0	102.9	100.4	99.3	98.8	101.6	101.6	103.7	99.8	100.1
対前期変化率(%)	1.5	-0.7	2.2	-0.6	0.9	-2.4	-1.1	-0.5	2.8	0.0	2.1	-3.8	0.3

注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

### 1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年7～9月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	245,161	1.8	0.7	0.7		2期ぶりの実質増加
食 料	59,200	2.2	1.5	0.36	<増 加> 外食,肉類など	3期連続の実質増加
住 居	18,527	0.2	0.6	0.05	<増 加> 家賃地代	2期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	17,028	6.5	0.6	0.04	<増 加> 電気代,上下水道料	3期ぶりの実質増加
家具・家事用品	9,570	5.0	6.8	0.26	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	19期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	8,493	1.0	0.3	0.01	<増 加> 洋服,他の被服など	3期連続の実質増加
保 健 医 療	10,658	-2.6	-2.0	-0.09	<減 少> 保健医療サービス,医薬品	5期ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	35,384	2.5	-0.2	-0.02	<減 少> 自動車等関係費	2期連続の実質減少
教 育	7,534	14.5	13.9	0.38		
教 養 娛 楽	25,741	1.8	2.6	0.28	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	4期連続の実質増加
その他の消費支出	53,026	-1.2	(-2.3)	(-0.51)	<減 少> 仕送り金,こづかいなど	3期ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 増加項目 >

##### 実質寄与度

家庭用耐久財	[0.33]	.....	エアコンディショナ,炊事用電気器具
外食	[0.23]	.....	和食,洋食
教養娯楽サービス	[0.23]	.....	国内パック旅行費,宿泊料
家賃地代	[0.18]	.....	民営家賃
諸雑費	[0.14]	.....	祭具・墓石,葬儀関係費
通信	[0.13]	.....	移動電話通信料

##### < 減少項目 >

交際費	[-0.35]	.....	贈与金
自動車等関係費	[-0.15]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[-0.13]	.....	設備器具,修繕材料
保健医療サービス	[-0.11]	.....	他の入院料*,医科診療代

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

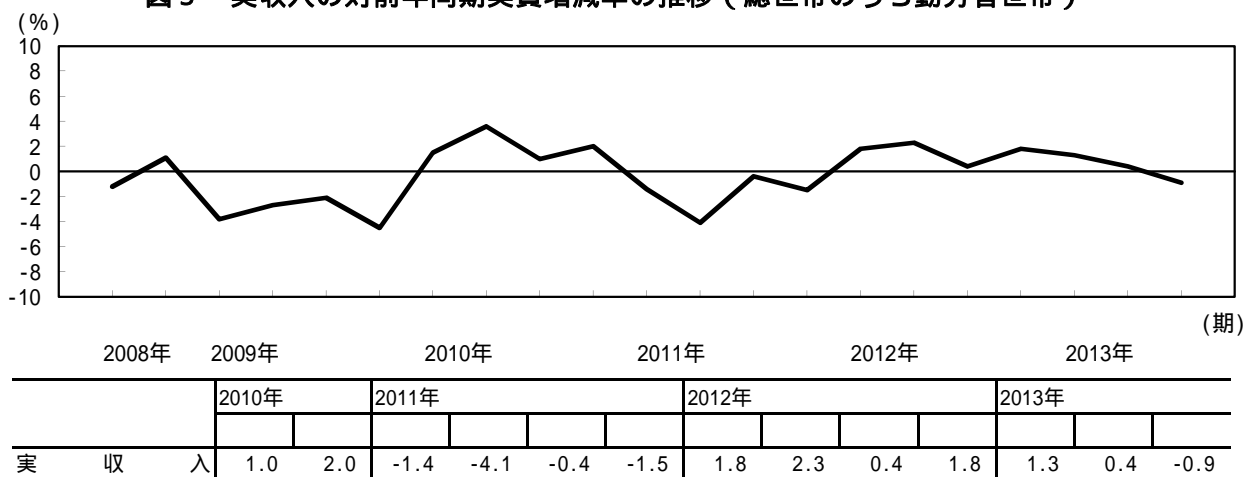
\* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

## 2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2013年7～9月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	436,539	0.2	-0.9	-0.9	7期ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	366,992	0.5	-0.6	-0.48	2期連続の実質減少
定 期 収 入	324,591	0.0	-1.1	-0.82	2期連続の実質減少
臨時収入・賞与	42,401	4.8	3.7	0.34	4期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	42,416	-1.0	-2.1	-0.20	8期ぶりの実質減少
う ち 女 性	42,064	-0.6	-1.7	-0.16	8期ぶりの実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	6,909	8.6	7.4	0.11	4期連続の実質増加
非 消 費 支 出	82,493	2.8	-	-	9期連続の増加
可 処 分 所 得	354,046	-0.4	-1.5	-	2期連続の実質減少
消 費 支 出	273,689	0.8	-0.3	-	3期ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	77.3	(前年同期) 76.4	(ポイント差) 0.9		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

## 二人以上の世帯

### 1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2013年7～9月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	283,812	1.8	0.7	0.7		2期ぶりの実質増加
食 料	68,571	2.9	2.2	0.53	<増 加> 外食,肉類など	4期連続の実質増加
住 居	18,308	-3.5	-3.1	-0.21	<減 少> 家賃地代,設備修繕・維持	2期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	20,177	7.0	1.0	0.07	<増 加> 電気代,上下水道料など	3期ぶりの実質増加
家具・家事用品	11,371	6.1	7.9	0.30	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	10期連続の実質増加
被服及び履物	9,962	3.1	2.4	0.08	<増 加> 洋服,履物類など	3期連続の実質増加
保健医療	12,593	-2.3	-1.7	-0.08	<減 少> 保健医療サービス,医薬品	2期ぶりの実質減少
交通・通信	40,948	1.1	-1.6	-0.23	<減 少> 自動車等関係費	2期連続の実質減少
教 育	10,784	15.0	14.4	0.49	<増 加> 授業料等,補習教育	2期ぶりの実質増加
教養娯楽	29,294	3.6	4.4	0.45	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品	3期連続の実質増加
その他の消費支出	61,803	-1.6	(-2.7)	(-0.60)	<減 少> 仕送り金,こづかいなど	3期ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 増加項目 >

##### 実質寄与度

教養娯楽サービス	[0.39]	.....	国内パック旅行費,スポーツ月謝
授業料等	[0.38]	.....	私立大学,専修学校
家庭用耐久財	[0.34]	.....	エアコンディショナ,炊事用電気器具
諸雑費	[0.26]	.....	葬儀関係費,非貯蓄型保険料
外食	[0.22]	.....	飲酒代,すし(外食)
交通	[0.17]	.....	鉄道通勤定期代,鉄道運賃

##### < 減少項目 >

自動車等関係費	[-0.49]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
交際費	[-0.37]	.....	贈与金
保健医療サービス	[-0.15]	.....	他の入院料*, 歯科診療代
家賃地代	[-0.13]	.....	公営家賃, 給与住宅家賃

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

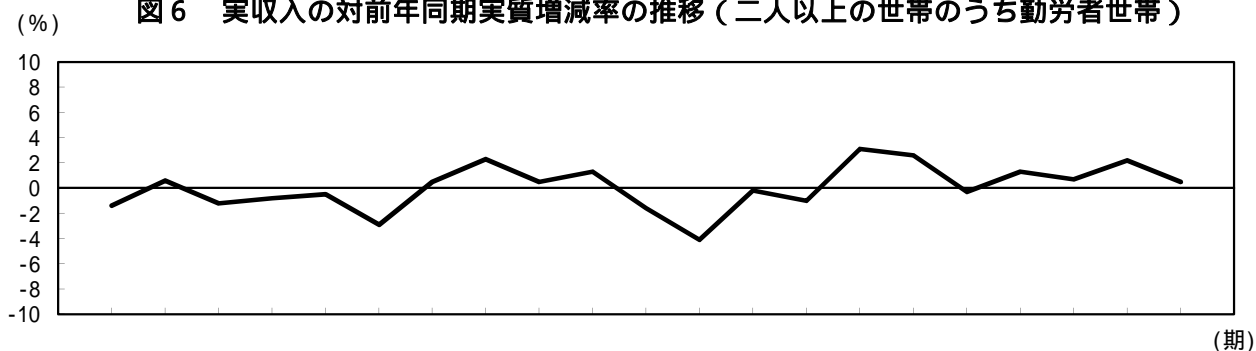
\* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

## 2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2013年7～9月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	490,839	1.6	0.5	0.5	4期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	399,797	2.2	1.1	0.86	2期連続の実質増加
定 期 収 入	351,395	1.8	0.7	0.50	6期ぶりの実質増加
臨 時 収 入・賞 与	48,403	4.9	3.8	0.36	3期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	58,646	0.6	-0.5	-0.06	8期ぶりの実質減少
う ち 女 性	58,161	0.9	-0.2	-0.02	8期ぶりの実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	9,559	10.4	9.2	0.16	4期連続の実質増加
非 消 費 支 出	93,234	5.6	-	-	9期連続の増加
可 処 分 所 得	397,605	0.7	-0.4	-	2期ぶりの実質減少
消 費 支 出	312,818	1.7	0.6	-	7期連続の実質増加
平均消費性向(%)	(前年同期) (ポイント差)				
	78.7	77.9	0.8		

図6 実収入の対前年同期実質増減率の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



	2008年		2009年		2010年			2011年			2012年			2013年		
	2010年		2011年		2012年		2013年		2010年		2011年		2012年		2013年	
実 収 入	0.5	1.3	-1.6	-4.1	-0.2	-1.0	3.1	2.6	-0.3	1.3	0.7	2.2	0.5			

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

# 単身世帯

## 消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2013年7～9月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	155,621	2.3	1.2	1.2		2期ぶりの実質増加
食 料	37,490	-0.1	-0.8	-0.19	<減 少> 野菜・海藻、穀類など	2期ぶりの実質減少
住 居	19,032	9.7	10.1	1.16	<増 加> 家賃地代	2期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	9,733	5.4	-0.5	-0.03	<減 少> 他の光熱	3期連続の実質減少
家具・家事用品	5,398	0.9	2.6	0.09	<増 加> 家庭用耐久財	8期連続の実質増加
被服及び履物	5,090	-6.9	-7.5	-0.27	<減 少> 履物類、下着類など	6期連続の実質減少
保健医療	6,174	-2.8	-2.2	-0.09	<減 少> 保健医療用品・器具、医薬品	5期ぶりの実質減少
交通・通信	22,494	10.4	7.5	1.01	<増 加> 自動車等関係費、通信	2期ぶりの実質増加
教 育	9	-	-	-		
教 養 娯 楽	17,506	-4.2	-3.4	-0.42	<減 少> 教養娯楽サービス、教養娯楽用品など	4期ぶりの実質減少
その他の消費支出	32,694	1.4	(0.3)	(0.07)	<増 加> 仕送り金	3期連続の増加

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。  
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。  
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 増加項目 >

#### 実質寄与度

家賃地代	[1.50]	.....	民営家賃，公営家賃
自動車等関係費	[1.40]	.....	自動車購入，自動車保険料(任意)
教養娯楽用耐久財	[0.43]	.....	パーソナルコンピュータ，カメラ
家庭用耐久財	[0.31]	.....	エアコンディショナ，電気冷蔵庫
外食	[0.28]	.....	和食，洋食
通信	[0.25]	.....	移動電話通信料，移動電話

#### < 減少項目 >

交通	[-0.59]	.....	鉄道運賃，航空運賃
教養娯楽サービス	[-0.43]	.....	外国パック旅行費，国内パック旅行費
設備修繕・維持	[-0.34]	.....	外壁・塀等工事費，給排水関係工事費
諸雑費	[-0.31]	.....	非貯蓄型保険料，たばこ
教養娯楽用品	[-0.22]	.....	他の運動用具 <sup>*1</sup> ，他の愛がん動物・同用品 <sup>*2</sup>

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

\*1 「他の運動用具」とは、「ゴルフ用具」以外の運動用具類をいう。

\*2 「他の愛がん動物・同用品」とは、「ペットフード」及び「動物病院代」に分類されない愛がん動物並びにそれらに関する用具及びサービスをいう。



## < 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2013年7～9月期 - 総世帯）

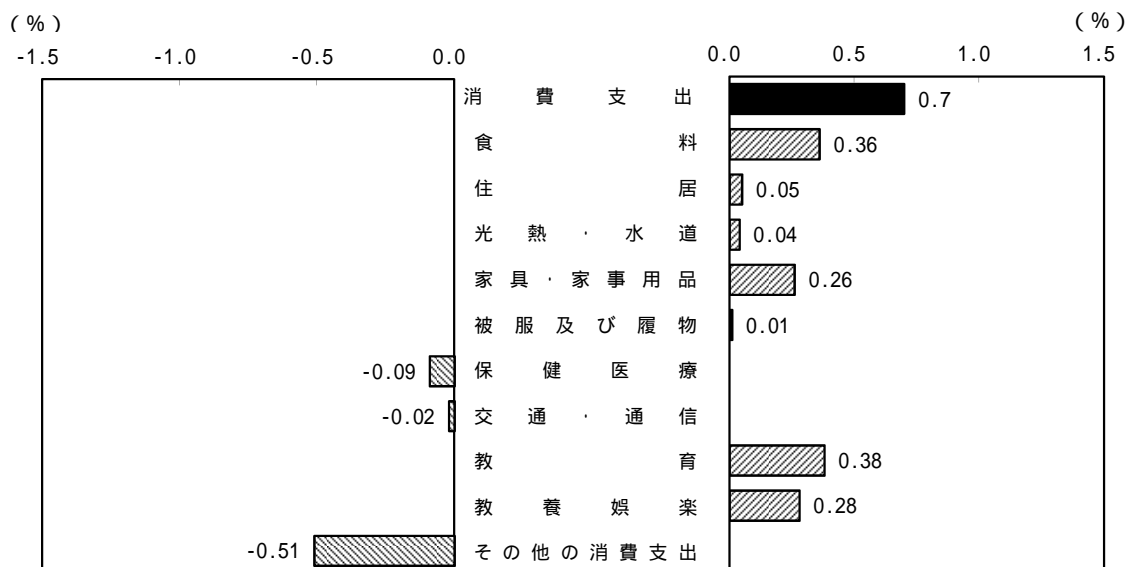


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2013年7～9月期 - 二人以上の世帯）

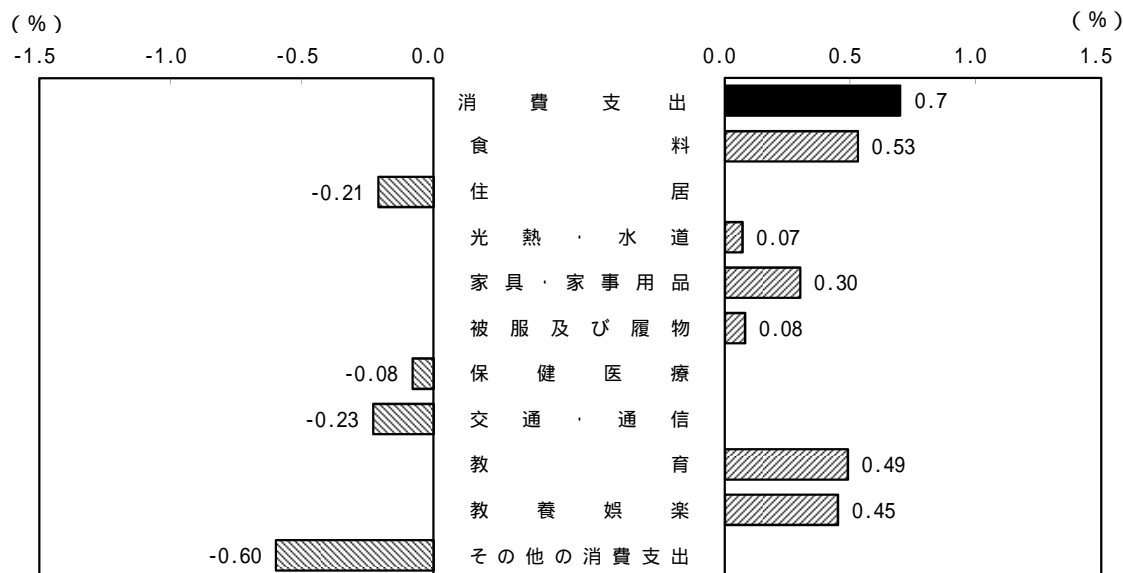
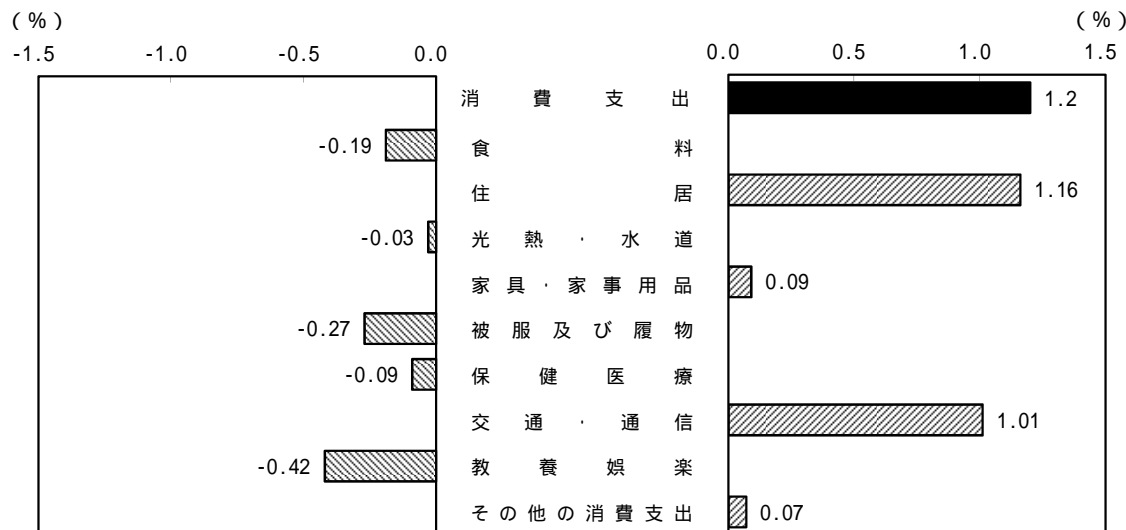


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2013年7～9月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。